

第 11 回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

1 趣旨

マイカー利用の抑制が公共交通の利用促進、渋滞緩和、CO2 排出量の削減に繋がることを市民一人ひとりに啓発し、日常的な移動にあたっての行動変化を促す。

2 概要

(1) 内 容

市民、市内通勤者がマイカーを利用しない日を 1 日以上設けて実践する。

(2) 実施期間

令和元年 10 月 14 日（月・祝）～10 月 20 日（日）の 7 日間

(3) 今年度重点項目

- ア 主催者・共催者間で連携し、持続可能なイベントを開催しながら、ノーマイカーの取り組み趣旨を積極的に PR し、定着を図る。
- イ 事業所への参加依頼は、一律的ではなく、公共交通への転換の可能性等を考慮した上で、地域や業種等を踏まえ、訪問する事業所をピックアップし、行う。
- ウ 事業所への依頼に当たっては、依頼文のみでなく、事業所から要望の多かった公共交通に関する情報（路線情報、利用手引、啓発チラシ等）を活用する。
- エ この取り組みを広く市民に知っていただき活性化を図るため、広報活動を強化する。
- オ 事後の検証を行い、来年度以降の取り組みに活かしていく。

3 実施結果

(1) 実施計画の検証

分類	実施方針	実施内容	評価指標	目標値 (前年実績)	実績値
参加促進 キャンペーン	事業所・通勤者 への働きかけ	・事業所への訪問（30 事業所） ・経済団体、労働団体との連携 ・バス車内広告枠を利用した参加 事業所名の PR ・松江バブルとの連携	参加事業所 数	150 事業所 (136)	128 事業所
		・公共交通の利用方法やお得な情 報等を掲載した冊子、啓発パン フレットの配布	参加者数	4,000 人以上 (3,900)	3,900 人
	ファミリー層への 働きかけ	・路線バスの旅イベント（土日祝 日バス小学生以下無料乗車） ・既存の公共交通イベントの周知	路線バスの 旅イベント 利用者数	500 人 (441 人)	377 人
	通学者への働 きかけ	・市内の高校生に対して雨天時の 路線バス利用を呼びかけ			
広報活動	バスまつりで の PR	・ノーマイカーウィークの PR ・乗車マナーの向上を図る企画等 の検討実施（9/22）	CO2 削減量	18.0 トン (17.4)	17.5 トン
	大規模集客施設 でのチラシ配布	・イオン松江 SC にて、主催共催 団体職員によるチラシ配布 (10/13)			
	バスマスク掲出	・路線バスへの掲出			
	のぼり旗掲出	・宍道湖大橋南詰への掲出			

(2) まとめ

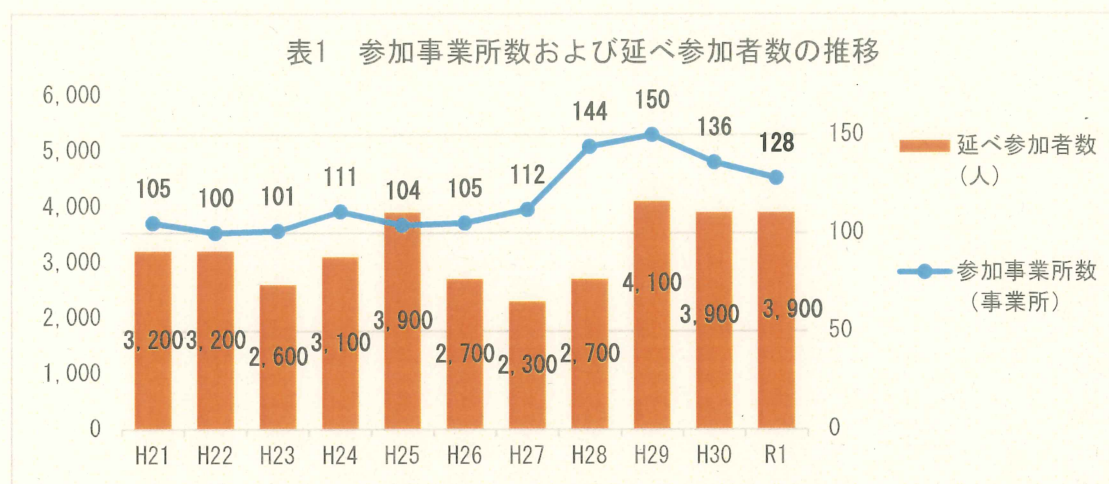
ア 参加状況

①参加事業所数

- ・128 事業所が参加した（過去 11 年間で 4 番目。昨年は 136 事業所）

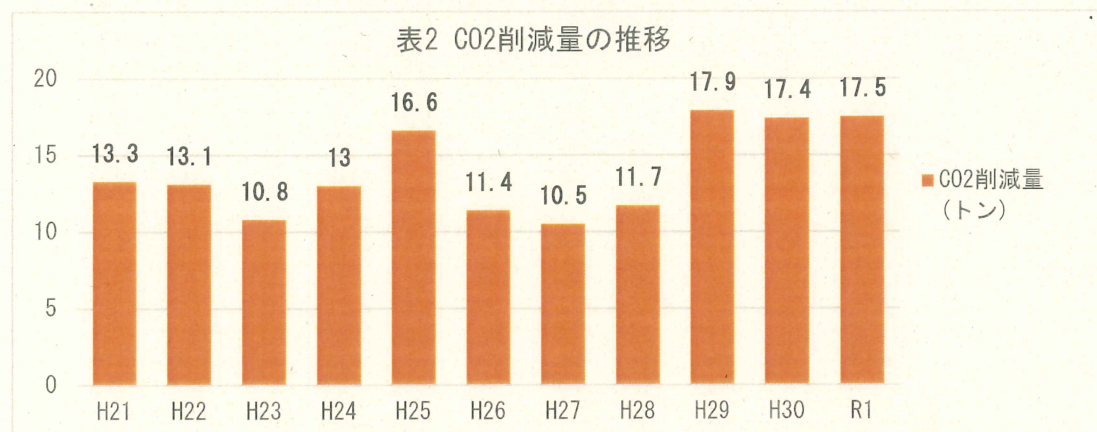
②参加者数

- ・延べ 3,900 名がノーマイカーの取り組みに参加した



イ CO2 削減量

期間中に参加者がクルマから他の交通手段へ転換したことにより、約 17.5 トンの CO2 排出量を削減した。（国土交通省基準値より推計）



算定式

$$\frac{\text{ガソリン 1ℓ 当たり CO2 排出量} \times (\text{期間中の「通勤距離」} + \text{業務移動距離})}{\text{乗用車走行燃費}} \times \text{延べ参加者数}$$

ガソリン 1ℓ 当たり CO2 排出量 = 2.3kg（国土交通省基準値）

通勤距離（往復）= 17.8km（H11 中海・宍道湖都市圏 PT 調査 松江都市圏の通勤距離）

乗用車走行燃費 = 9.7km/ℓ（国土交通省基準値）

出典：国土交通省エコ通勤ポータルサイト

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/ecommuters/>

ウ 渋滞長

- ・「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の施策の効果を把握するため、主要交差点 6 地点において、以下のとおり渋滞長調査を実施した。

実施日 期間前 10月9日 7時～9時 天候：晴れ

期間中 10月16日 7時～9時 天候：晴れ

- ・最大渋滞長（100m以上の渋滞が発生した交差点 4 地点）を比較すると、8 方向のうち 4 方向の最大渋滞長が減少した。
- ・一方で、最大渋滞長が期間前よりも大幅に増加した地点（宍道湖大橋付近）もみられたが、これは、出雲方面から国道 9 号を東進していた救急車が、調査時間帯に袖師交差点に進入、宍道湖大橋方面に向けて通過したことが要因として挙げられる。
- ・救急車などが緊急走行で接近する場合、進路を譲る（交差点及びその付近では一時停車も）ことが法律で定められており、救急車の通行により経路となった交差点で渋滞長が増加し、その渋滞の影響が周辺道路の通行にも波及したものと考えられる。
- ・したがって、このような特殊な状況が発生したなかで得られた測定結果については、参考値にとどめざるを得ないとする。

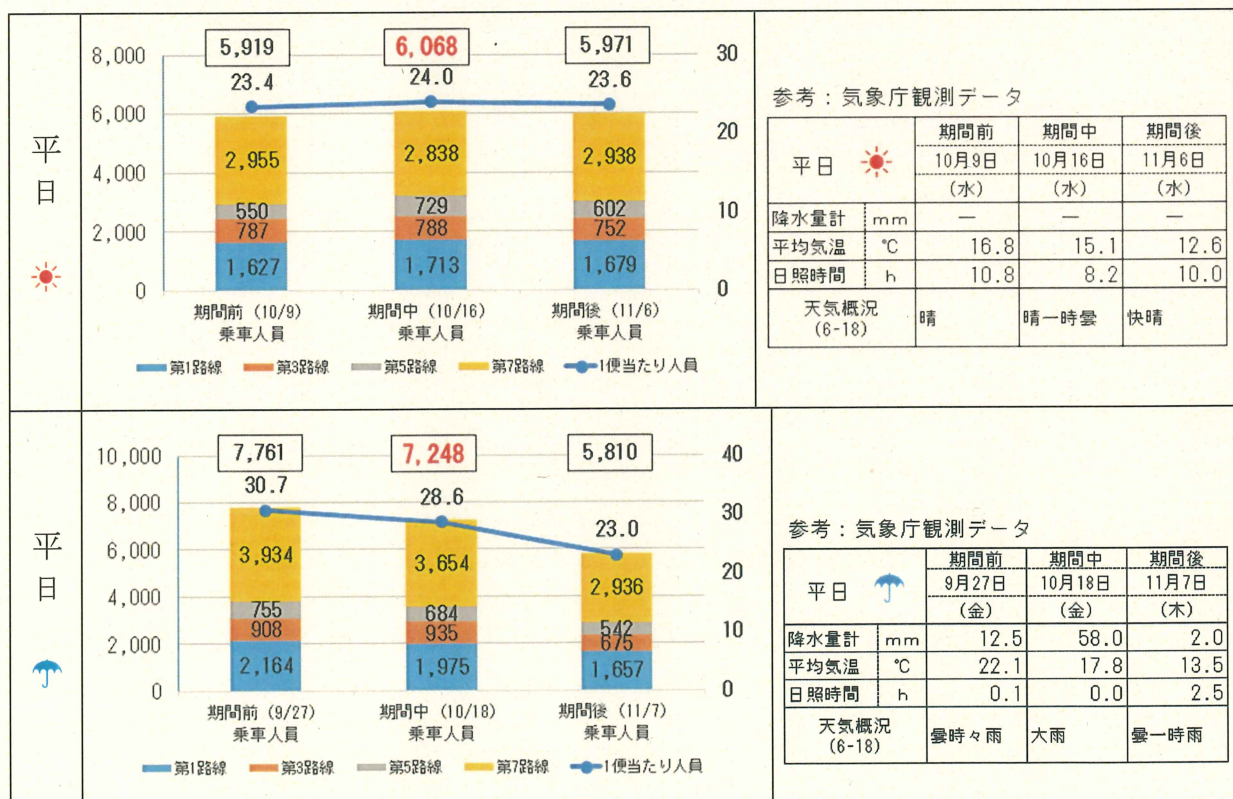
エ バス利用者数

市営バス主要 4 路線の利用者数をみると、平日の雨の日を除き、ノーマイカーウィーク期間前よりも期間中が増加し、期間後も増加した。

① 平日

平日☀は、期間前と比べ、期間中 2.5%の増加、期間後 0.1%の増加

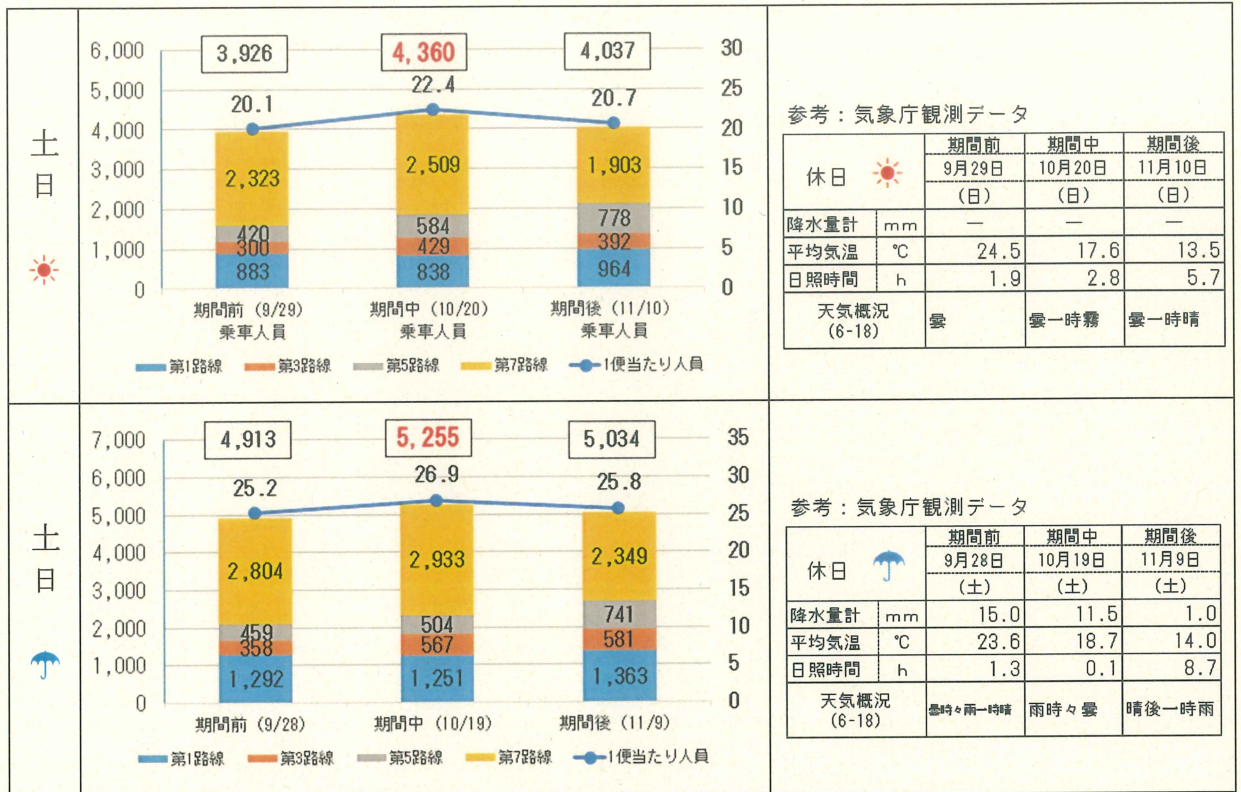
平日☔は、期間前と比べ、期間中 6.6%の減少、期間後 25.1%の減少



② 土・日曜日

土日☀は、期間前と比べ、期間中 11.1%の増加、期間後は 2.8%の増加

土日☔は、期間前と比べ、期間中 7.0%の増加、期間後は 2.5%の増加



4 事業所から寄せられた主な意見

ア 公共交通機関に関すること

- ・バスも意外と便利だった。
- ・利用したバスは予定時刻よりも遅延したので接続便への乗り継ぎが心配だった。バスがスムーズな運行ができるようにマイカーに乗る時も気を付けないと感じた。
- ・せめて中心街のバス停には、バスがバス停を通過したことが分かるシステムでも設置されていれば利用しやすくなると思う。

イ 渋滞緩和に関すること

- ・渋滞緩和など貢献できた。
- ・自転車通勤だと渋滞に関係なく通勤できた。

ウ 健康増進に関すること

- ・車での移動が多く体を動かすことが少ないので週1回くらいは良い。
- ・通勤にかかるストレスが軽減された。
- ・デスクワークが多いので徒歩は気分転換になるし健康にも良い。
- ・徒歩での通勤は気分転換にもなり、時間的・精神的なゆとりが生まれた。

エ 街並みや景色などの気づきに関すること

- ・バスで通勤したときに新しい店を発見した。
- ・道路整備の状況や新店舗の立地など、まちの変化がタイムリーに分かる。また、季節変化を肌身で知ることができた。
- ・車から見る風景と異なり新鮮だった。

オ 事業所内に関すること

- ・公共交通機関を利用することによって仕事をする時間がきちんとできた（車だとダラダラと会社にいることがあった）。
- ・ひとりひとりが公共交通機関を利用して通勤する方法を考え調べてみた。
- ・忙しい中でも協力して取り組めることが分かったので、日頃から呼びかけることが重要と感じた。
- ・継続して参加することで社員の意識が高まった。

カ その他

- ・外出を一度で済ませるよう考えて行動した。
- ・近くの病院や郵便局へ徒歩で行くことによって、車の危険性が判った。
- ・市内を移動する時にバスを使えば駐車場の心配がない。
- ・外出を控えたり相乗りすることで家族との時間が増えて良かった。
- ・意識を持てばマイカーの使用を控えることができると感じた。
- ・バスに乗ったが、景色を眺めながら少しゆっくりした時間が過ごせ良い時間となった。
- ・『松江バル』と連動してバス割引があり、バスでバルが楽しめた。
- ・ノーマイカーウィークの取り組みを全く知らなかった。周知不足ではないか。
- ・広報活動を広く行っていくべき。地球温暖化に関する話題が大きく取り上げられることが増えたため、広く知らせることで多くの人が環境にやさしい移動手段を考えるきっかけになると思う。
- ・ノーマイカーを目指すのであれば、通勤時間帯のバスの増便や自転車専用通行帯の整備など、車を使わなくてよい環境をもっと充実させてほしい。
- ・目的地に行くのにどのバスを利用すればよいのかが分かりにくい。

カシコク クルマ！ カシコク 公共交通！



第11回 松江市一斉 ノーマイカーウィーク 令和元年 10月14日(月)～20日(日)

主催：松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、松江市教育委員会、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、
国土交通省中国運輸局島根運輸支局、(一社)島根県旅客自動車協会、松江商工会議所、連合島根
共催：一畑バス株、松江市交通局、日ノ丸自動車株、西日本旅客鉄道株米子支社、一畑電車株
後援：松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、松江市高齢者クラブ連合会、松江市連合婦人会、
まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、松江警察署、島根県警察本部、島根県教育委員会、
島根県高等学校PTA連合会、松江市PTA連合会、松江市幼稚園・こども園PTA連合会、
松江市幼稚園白鳥クラブ連合会、まつえ北商工会、まつえ南商工会、東出雲町商工会、
島根県交通運輸産業労働組合協議会、(公社)島根県トラック協会、一畑電気鉄道株、朝日新聞松江総局、
エフエム山陰、共同通信社松江支局、山陰ケーブルビジョン、山陰中央新報社、TSK山陰中央テレビ、
BSS山陰放送、産経新聞松江支局、時事通信社松江支局、島根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、
中国新聞社、日本海テレビ、日本経済新聞社松江支局、NHK松江放送局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局

松江市一斉ノーマイカーウィークは、

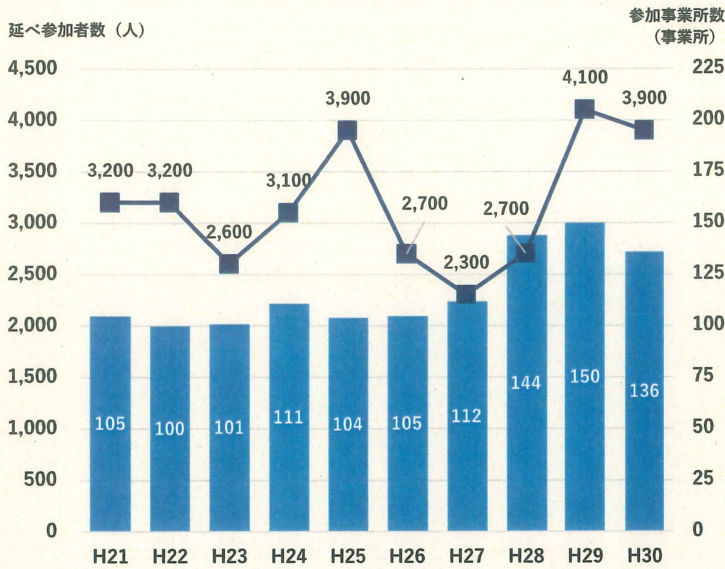
公共交通の利用促進や交通渋滞の緩和、クルマからの

CO2削減を目指し、過度なクルマ依存の生活を

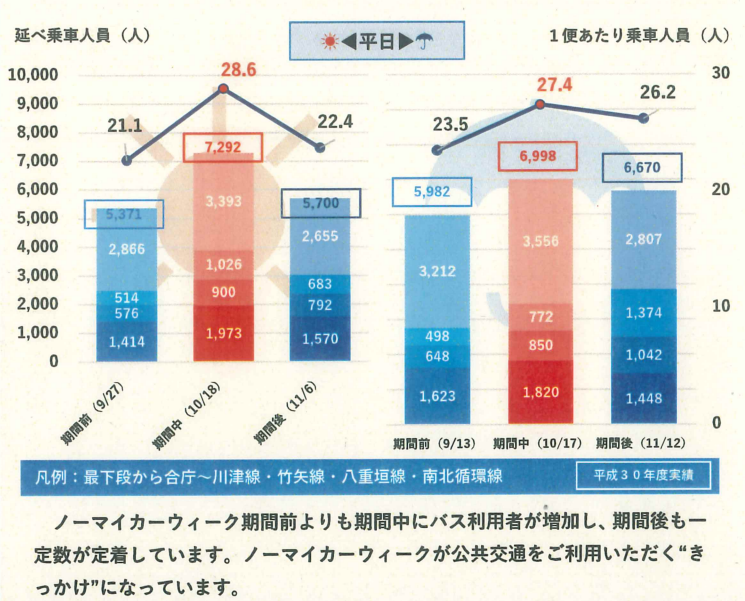
見直す“きっかけづくり”の取り組みです。

1人ひとりの取り組みが、環境負荷の軽減、公共交通の利用促進につながります！

■ノーマイカーウィーク参加事業所数および延べ参加者数の推移



■ノーマイカーウィーク期間中のバス主要路線利用者数の推移



今年もいろんな企画を実施します！是非ご参加ください。

路線バスでお得に

松江バル

松江の夜を楽しむ4 DAYS 飲んで、食べて、ハシゴする

松江 橋北 エリア

■京店（末次本町）・東本町
片原町周辺エリア

10/16・17
WED THU

松江 橋南 エリア

■伊勢宮町・御手船場町・寺町
朝日町周辺エリア

10/23・24
WED THU

路線バス DE 松江バル お得な情報！！

マップ付きチケットを市内の路線バス（一畑バス、市営バス、日ノ丸バス、コミュニティバス）に提示すると、100円で乗車可能です！

※松江バル開催日（4日間）のみ・現金でご乗車の場合のみ

■詳しくは、松江バルウェブサイト（<http://matsue-bar.com/>）をご覧ください。
■松江バル2019のお問い合わせ…松江商工会議所産業振興課 ☎0852-32-0505

地域の魅力を再発見！

路線バスの旅

休日にマイカーで出かけている方も、
たまにはバスでお出かけしませんか？

松江市内路線バス小学生以下無料乗車イベント

■イベント開催日：令和元年9月21日～10月末までの

土曜日・日曜日・祝日

イベント協賛店も増えてますますお得に！

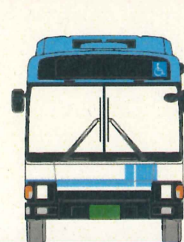
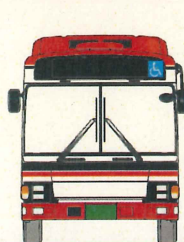
松江を路線バスで楽しもう！

■詳しくは、無料乗車イベント利用券付チラシまたは松江市ウェブサイトをご覧ください。
■本イベントに関するお問い合わせ…松江市交通政策課 ☎0852-55-5209



「松江バル」および「路線バスの旅」イベント乗車券対象路線

一畑バス全路線（高速バス、空港連絡バス、隠岐汽船接続バス、松江空港シャトルバス、臨時バス、出雲管内を除く）市営バス全路線（レイクライン・臨時バスを除く）日ノ丸バス松江線（松江営業所～羽入間）コミュニティバス全路線



Facebook ページにて情報発信中！

【松江市公共交通利用促進市民会議】

【松江市交通政策課】

【松江市コミュニティバス】



松江市公共交通利用促進市民会議の取組情報 など



公共交通機関（鉄道、バス、航空路、隠岐航路など）に関連する松江市の取り組み情報



松江市コミュニティバスの運行に関する情報

■松江市一斉ノーマイカーウィークに関するお問い合わせは…

松江市歴史まちづくり部交通政策課
（松江市公共交通利用促進市民会議事務局）

☎0852-55-5209（平日 8:30～17:15）